



こんにちは、人権教育推進室です！

大阪公立大学高専には、「人権教育推進室」があります。主な仕事は、人権に関する講演会やフィールドワーク、ワークショップなどから成る「ふらっと高専」を、本科1～5年生に提供することです。学年によっては、セクシュアリティ教育も実施します。その他、必要に応じて啓発活動や学生支援に携わりますので、ぜひ知っておください😊

講演会には事前・事後学習があります。Classroomやメールで連絡・提供しますので、チェックをよろしくお願ひします！

2023年度の室長は伏見裕子です。質問や相談などがあれば、気軽に社会研究室（管理棟3階）にお越しください。

活動報告：2年生人権教育講演会

今年度最初の「ふらっと高専」行事は、5月17日実施の2年生人権教育講演会でした。『ふらっとライフ』第2章著者の川崎那恵さんにお越しいただき、学年の講演テーマ「排除に対して声を上げる権利」に沿って、「寝た子を起こして、仲良くごほん一部落女性の立場からみなさんへー」というタイトルでお話いただきました。

川崎さんは、事前に学生から寄せられた質問・意見に回答しながら、被差別部落で生きてきた女性のライフストーリーや現状、ヘイトクライムおよびヘイトスピーチなどに関する説明や問題提起を行い、部落以外のトピックについても幅広く言及されました。

ネット上も含め、身近なところで生じている最近の問題にも触れ、「差別されるかもしれない」「殺されるかもしれない」という気持ちで生きているひとたちがいる。恐怖により語ることができないこと、「社会構造を無批判に受け入れて生きている私たちは、差別に加担してしまう」ことなども教えていただきました。



ふらっと通信

2023年6月号（第1号）

発行：人権教育推進室長 伏見裕子
(fushimiyuko@osaka-pct.ac.jp)

2年生の振り返り（6/18現在）

- この講演の内容を理解できましたか？
「はい」（97.8%）、「いいえ」（2.2%）
- この講演のテーマについて新しい発見がありましたか？
「はい」（84.6%）、「いいえ」（15.4%）
- 今回学んだことを、他の場面（他の人権課題）でも活かせると思いますか？
「はい」（89.7%）、「いいえ」（10.3%）

【学生からのコメント】（一部抜粋）

理解したこと 今も部落差別に苦しめられている人はいて、その当事者が苦しんでいることを訴えても無視されたり、居ないことにされるような事態になってしまっていること。

発見したこと 寝た子を起こすという表現について、問題に対して恐れず向き合うという意味が表されていること。

学びを活かす場面など 部落が悪であるかのように語られるように、いつの間にか相手の思惑にハマっていくことに気を付けないといけない。

その他 特に焦点が当たっていたのは部落問題だったけど、ジェンダーの問題についても触れていて、いろいろつながって行くのが理解できた。

ふらっとメモ



高専図書館のカウンター横に、1年生の専門共通科目「ダイバーシティと人権」のコーナーを作っています。他学年の人も教職員の皆さんも、ぜひご利用ください！



主な予定（前期6～9月）

- ・6/14（水）5年生人権教育講演会
- ・7/12（水）3年生人権教育講演会
- ・8/7（月・試験後）4年生人権教育講演会
- ・9/29（金・補講日）フィールドワーク（希望者）

ふらっと
高専